

刈草の行方

ピオトープ公園では、生き物たちのすみかを整えたり、公園の景観を良くするために草刈りを行っています。では、刈った草はどうしているのでしょうか。

水辺の植物は堆肥に

ハスなどの水辺の植物は、細かく刻んで、「だんだん坂」近くにある堆肥場に入れます。そこで、ダンゴムシなどの「分解者」と呼ばれる生き物たちが草を堆肥にします。1年もすると、草は全て堆肥に変わり、できた堆肥は園内で使っています。



芝生の草は林の土に

広場で刈った草は、「こもれび林」に置いています。置いた草は堆肥場の草と同じように、「分解者」が堆肥にしてくれます。そして林の木の栄養になったり、ダンゴムシなどの生き物のすみかになっています。



ピオトープ公園では、刈った草も利用しています。堆肥場や「こもれび林」の刈草は、土の生き物でいっぱいです。寒い冬こそ、スタッフと一緒にゆっくり生き物を観察しましょう。

【解説員 濱崎】

NO.43 ハサミムシ



見つけやすい ←★→ 見つけにくい

おしりにハサミをもった昆虫で、2センチくらいの大きさになります。肉食性で、ミミズなど土の中で暮らす小さな生き物を食べます。落ち葉の下などに隠れています。

ボランティア日記

8月11日(日)

あそび屋台

私たちは毎月、遊びながら自然と親しめる「自然のあそび屋台」を行っています。8・9月は、原っぱでバッタを捕まえ、種類や大きさなどを調べる「バッタの大きさ比べ」を行いました。中には、7センチをこえる成虫のメスのショウリョウバッタをとった参加者もありました。毎月内容が変わるので、初めての人もリピーターの人も、ぜひ遊びに来てくださいね。

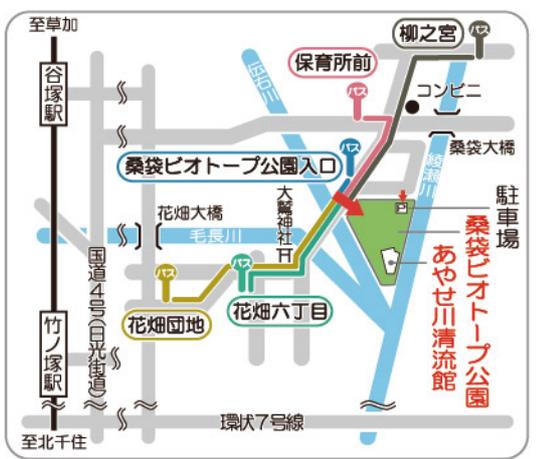
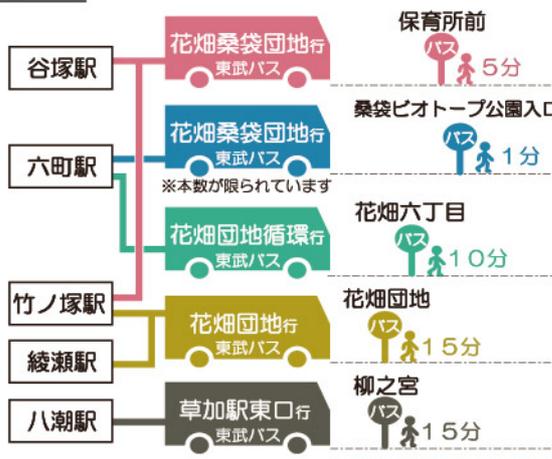


【野あそびボランティア 大和田】

ご利用案内

- 開園時間
 - 2月~10月 9:00~17:00
 - 11月~1月 9:00~16:30
- 休園日
 - 月曜日 (祝日の場合、直後の平日)
 - 年末年始 (12月29日~翌1月3日)
- 入園料 無料
- 駐車場 無料(11台)

交通案内



お問い合わせ先

桑袋ピオトープ公園 (あやせ川清流館)
〒121-0061 足立区花畑8-2-2

TEL: 03-3884-1021
FAX: 03-3884-1041
HP: <https://ces-net.jp/biotop/>
E-mail: bio-park@ces-net.jp

HP



Facebook



Twitter



※ご利用には通信料がかかります。
※機種によってはご覧いただけません。